歯科医療現場と直結する教育環境で技術と人間力を養う

奈良歯科衛生士専門学校

末瀬 一彦理事長 インタビュー

奈良県で唯一の歯科衛生士養成機関である奈良歯科衛生士専門学校。昭和41年に県歯科医師会が前身の「奈良歯科衛生士学院」として設立した。平成5年に専門学校となり、これまでに1600人を超える卒業生が総合病院や保健所、歯科診療所などの現場で活躍している。歯科衛生士は、診療補助▽予防処置▽歯科保健指導の資格を持つスペシャリスト。近年、歯科医療の分野では、予防医学がますます重視されるようになっており、歯科衛生士をめぐる多様なニーズが期待される。創立50年を超える学校のあゆみを振り返るとともに、口腔衛生の重要性も踏まえ、末瀬一彦・理事長に語っていただいた。

（聞き手は甘利治夫・奈良新聞社主筆）

末瀬　一彦 理事長

（すえせ・かずひこ）＝昭和26年8月生まれ。生駒市出身。県立郡山高校を卒業後、大阪歯科大学卒、同大学院を修了。大阪歯科大学衛生士専門学校長や大阪歯科大学教授などを歴任する。令和元年7月から本校理事長に就任

―まずは歯科衛生士の役割や仕事について教えてください。

補助と予防処置、保健指導

末瀬　歯科衛生士の仕事は主に3つあります。1つめは歯科医師の指示を受けて歯科診療の一部を担う「診療補助」。次に歯垢や歯石を除去し虫歯や歯周病の予防をするといった「予防処置」、最後に正しい歯の磨き方を含む口腔ケアの指導や食生活指導をする「保健指導」の3つです。

さらに最近では歯科医院に通院が困難な方に対し、訪問による口腔ケアも行っています。

―どのようにしたら歯科衛生士になれるのですか。

国家資格が必要

末瀬　歯科衛生士になるためには、国家資格が必要です。資格が必要でない歯科助手とは全く異なります。衛生士と助手の見分けは付きにくいですが、歯科衛生士はプロフェッショナルとしてのミッションによって、患者さんと一番接する機会が多いのです。お口の健康は重要で歯科衛生士の活躍の場は日ごとに重要性を増しています。

では、どうすれば歯科衛生士になれるのか。歯科衛生士になるためには三年制の専門学校、短大あるいは大学で専門知識と技術を勉強したのち、年に1度実施される国家試験に合格することです。国家試験の出題は専門知識を問うもので、選抜試験ではありません。本校で三年間まじめに勉強すれば合格できます。

―専門学校では国家試験対策以外に何を学ぶのですか。

実習の多さで即戦力を育成

末瀬　本校では、三年間において国家試験に合格するためにだけ学ぶのではなく、将来の歯科衛生士としての実学教育にウェートをおいています。専門学校では、生徒たちが歯科医療の現場で即戦力となれるよう、医療現場などで臨床実習を重ねます。3年間で、約3分の2は実技トレーニングやっているのです。

また、同専門学校は県歯科医師会の全面サポートがあり、県歯科医師会所属の各診療所などで実習を積んでいます。設備も充実しています。

「歯科衛生士になって早く仕事したい」という思いがあるのなら、三年制の専門学校で即戦力としての教育を受けることが近道だと思います。

―学習や実習以外に大切にしていることは。

人の痛みがわかる社会性の育成

末瀬　理事長に就任する際、本校の教育理念を立てました。その理念は「歯科医学の学術進歩に伴う専門的知識と技術を習得し、歯科衛生士医療技術者の一員として、人類の幸福に貢献できる能力を養うと共に、人の心の痛みがわかる人間性豊かな社会性を身につけることを教育の理念とする」。

本校での学習や実習のほかに、歯科衛生士として重要なのは、医療人として人の心の痛みがわかることなのです。人間である、社会人であるという一般常識を持ってもらう。本来は家で教えてきたことですが、本校の3年間であいさつの仕方やマナーなど社会性を身に付けてもらうことにも主眼を置いています。

少人数制でスペシャリストな講師

本校の定員は35人と少人数制で、きめの細かい指導を行っております。

学生教育に直接関わる講師には、外部からも各分野のスペシャリストを招いています。特に私の母校でもある大阪歯科大学にご支援を賜り、専門領域の教授や講師らに講義をお願いしています。ほかにも県内の歯科医師や保健所の職員ら多方面で活躍する専門的な先生からの指導を受けられるのです。

また、本校では講義の「授業評価」を導入しています。外部講師に来てもらうのですが、理解度の評価なども行うほか、生徒からの評価をとっています。いろんな角度から見て講義を厳しくチェックしているのです。

本校では専門性や最新設備などで密度の濃い教育を受けることができます。したがって本校卒業生の国家試験合格率も極めて高く、ほぼ毎年、受験生は全員合格しています。

生徒の多くは奈良県在住の方ですが、奈良は静かで、自然の美しさがあり、勉強するには最高の地ですから全国からもぜひ本校に来ていただいて歯科衛生士を目指していただきたいと思っています。

本校では歯科衛生士を目指すために「元気」「やる気」「本気」のある若者を歓迎します。

【沿革】

昭和41年4月	奈良歯科衛生士学院　創設
昭和60年3月	創立20周年記念式典開催
昭和61年4月	推薦入学制度を導入
昭和62年4月	歯科衛生士課程2年制に移行
平成4年2月	全国統一国家試験実施
平成4年7月	新校舎落成
平成4年10月	専門学校の認可を受け定員を35名とする
平成5年4月	「奈良歯科衛生士専門学校」に校名変更、社会人入学制度の導入
平成5年11月	校歌制定
平成7年2月	「専門士」の称号授与の認定を受ける
平成7年3月	創立30周年記念式典開催
平成11年3月	卒業生が1000人を超える
平成17年3月	創立40周年記念式典開催
平成22年4月	歯科衛生士課程3年制に移行
平成27年3月	卒業生が1500人を超える 創立50周年記念式典開催
平成28年4月	厚生労働大臣より「専門実践教育訓練給付制度指定講座」に認定
平成29年2月	文部科学大臣より「職業実践専門課程」に認定
令和元年9月	高等教育の修学支援新制度の対象機関に認定

歯科衛生士専門学校年間スケジュール

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	○入学式、新入生歓迎会	○専門科目　講義開始	○戴帽式
	○オリエンテーション		○大阪歯科大学附属病院実習
	○基礎・専門基礎科目講義開始		○県内病院　臨床実習
5月			○保健所実習
6月	○奈良、京都、滋賀合同交歓会		○幼稚園歯磨き実習
	○防災訓練		○老人施設実習
7月	○生理学実習		○障害者施設実習
	○社会見学		
	○夏期休暇	○夏期休暇	○夏期休暇
8月	○夏期休暇	○夏期休暇	○夏期休暇
9月	○あきしのDH学会	○あきしのDH学会	○あきしのDH学会
	○株式会社モリタ見学実習	○歯科放射線実習	
		○救急蘇生法実習	
		○小学校保健指導実習	
10月	○運動会	○運動会	○運動会
		○株式会社GC実習	
		○株式会社ヨシダ実習	
11月	○人体解剖・組織学実習	○臨床検査実習	国家試験対策
	○口腔衛生学実習	○株式会社松風実習	
12月	○微生物学実習	○クリスマスパーティー	○テーブルマナー講習
	○クリスマスパーティー	○福祉パーク見学・介護実技講習	
		○医院臨床実習開始	
	○冬期休暇	○冬期休暇	○冬期休暇
1月		○医院臨床実習	国家試験直前対策講義
2月	○医院見学実習		
3月	○健康診断	○健康診断	○歯科衛生士国家試験
		○修学旅行	○卒業式
	○春期休暇	○春期休暇	○卒業パーティー

歯科衛生士専門学校・紹介

一般社団法人 奈良県歯科医師会立「奈良歯科衛生士専門学校」

住　所：奈良市二条町2丁目9の2
アクセス：近鉄大和西大寺駅から東へ徒歩7分
電　話：0742（33）6474
理　念：歯科医学の学術進歩に伴う専門的知識と技術を習得し、歯科衛生医療技術者の一員として、人類の幸福に貢献できる能力を養うと共に、人の心の痛みがわかる人間性豊かな社会性を身につけることを教育の理念とする

【令和3年度生徒募集中】

○オープンキャンパス：8月23日午前10時から
○AO入試：7月30日まで受け付け。
○一般入学試験：第1回＝10月11日▽第2回＝11月8日▽第3回＝12月13日